

2005年11月2日

いすゞ、オーストラリアの商用車販売事業を100%子会社化

いすゞ自動車株式会社(以下いすゞ)は、この度オーストラリアでのCV(Commercial Vehicle)販売子会社いすゞゼネラルモーターズ オーストラリア(IGM)の出資比率を60%から100%に引き上げ、社名も新たにいすゞオーストラリア(Isuzu Australia Limited)とする。

いすゞは現在、中期経営計画('05年4月~'08年3月)における、商用車の海外拡販計画(15万台から30万台へ)達成に向け、海外販売体制の整備・強化を進めている。

1. IGM への出資比率の引き上げ

IGM は従来、いすゞ60%、GM40%の出資となっており、オーストラリアにおける商用車(C&Eシリーズ、Fシリーズ、Nシリーズ)の輸入・販売を行ってきた。

今回、オーストラリアでの商用車16年 No.1の堅持並びに更なるシェア拡大に向けて、迅速な決定・実行が必要不可欠であると判断し、GMの保有する全株式40%を1百万豪ドル(約83百万円)で買取り、当社出資比率を100%まで引き上げることとした。

2. 出資比率引き上げのねらい

オーストラリアは、年間約3万台規模の商用車市場ではあるが、有数の資源国であることから、今後も順調な経済成長により、市場規模も拡大していくものと考えられている。いすゞは、現地ディストリビューターを100%子会社することにより、この事業機会を取り込み、連結収益拡大への貢献度を高めるとともに、役員全員をいすゞ指名とすることで、事業・収益拡大に関する意思決定および実行の迅速化を図ることとした。

以上

<いすゞオーストラリアの概要>

会社名(予定)	Isuzu Australia Limited (IAL)
株式移転日	2005年11月1日
所在地	オーストラリア メルボルン市
代表者	村田 正行(Masayuki Murata)
資本金	10百万豪ドル(約8.3億円)

株 主	いすゞ：100.0%
主たる業務	オーストラリアにおけるいすゞ商用車の輸入、販売